

第196号
平成26年
1月10日

近畿税政連

税理士会の要望
実現のために
活動しています

発行所 近畿税理士政治連盟／発行人 大高友紀／編集人 後安宏彦

〒540-0012 大阪市中央区谷町1丁目5番4号 電話(06)6944-9040 FAX(06)6944-9050 URL <http://kinzeisei.jp/> e-mail info@kinzeisei.jp



南海の鎮 和歌山城（和歌山県和歌山市）

撮影：武田泰雄（城東支部）

- 新春対談（世耕弘成内閣官房副長官・大高友紀近税政会長）…………… P 3
- 第1回川柳・書道コンテスト結果発表 …………… P 10

焦点

新年あけましておめでとうございます。昨年末の税制改正大綱の納税環境整備において、申告納税制度の円滑かつ適正な運営に資するよう、税理士に対する信頼と納税者利便の向上を図る観点から税理士制度の見直しが行われることになった。

最も関心が高かった税理士の資格について、公認会計士への資格付与は公認会計士法第16条に規定する実務補修団体等が実施する研修のうち、一定の税法に関する研修を受講することとする旨の規定が設けられるようになった。当初目指していた、税法科目の受験については、条文に加えられな

税理士会の要望実現にむけて更なる活動を

かったが、一步前進したものといえる。

そのほか、電子申告等の電子情報処理組織を利用して行う業務については、税理士業務に含まれることが明確化された。我々の業務では、すでに電子申告が中心になっているが、それを税理士法で明確化されたことは、意義のあることである。

今後、TPP協定において交渉分野に含まれる「越境サービス貿易」における、「資格の相互承認」に税務業務の取り扱いには注視していかなければならない。税理士会と税政連とのチームプレーが今以上求められる。本年も税理士会要望実現のために政治活動をする。会員の皆様のご協力を切に願います。

年 頭 の こ と ば



「税理士法改正」実現へ

平成26年、あけましておめでとうございます。

会員の皆様には明るく健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年の第23回参議院議員通常選挙で自民党、公明党が過半数を確保し衆参のねじれが解消し、与党は安倍首相のもと、安定政権を維持しています。

参議院議員選挙では、近畿税政連が推薦した候補者のうち7人が当選されました。選挙では税理士による国会議員等後援会を中心に活動を進め、目的を達成できました。これはひとえに会員のご協力の賜物であり、ありがたく感謝申し上げます。

我々税理士は税の専門家の立場から政治に関わる必要があります。「税は国家なり」と言われるように税制には国家を変える力があり、税理士が無関心であってはなりません。申告納税制度と税理士制度の発展及び中小企業の成長のための環境整備が求められるところです。

5年前から税理士法の改正を要望し、日税連による国税庁、財務省主計局との勉強会をはじめ、与野党の部会や税理士議員連盟への陳情を経て、12項目からなる「税理士法に関する改正要望書」を決定し、平成26年度の改正法案の成文化にむけて政治活動を行ってききましたが、平成26年度税制改正大綱に遂に「税理士制度の見直し」が記載されました。今まで一切手をつけられなかった第3条について、「公認会計士に係る資格付与の見直し」が記載されたことは、当初の3科目受験からみると大きく後退したようにみえますが、条件を付したことは一歩前進であります。より良い税理士制度の実現に向けて更なる政治活動を行ってまいります。

我々が提案する税制改正要望は、公平な税負担、理解と納得のできる税制、必要最小限の事務負担、時代に適合する税制、透明な税務行政を実現することにより国民のための税制を構築していくための活動であり、ご理解ご支援をお願い申し上げます。

税理士法改正は、第186回通常国会に法案が提出され、成立するよう税理士会・税政連、そして会員が一丸となって進めていかなければなりません。表裏一体である税理士会と連携し、税理士による国会議員等後援会の活動をベースに、政治家に対して陳情要望を行ってまいります。支部連・後援会の皆様には、引き続き陳情要望活動を強化していただきますようお願い申し上げます。

今後の税政連活動をより実りのあるものとするためには、後援会活動を支える支部・支部連の組織を活性化していくことが肝要であり、本部では引き続き組織活性化のための施策を展開していく所存です。また、より多くの会員が関心をもって活動に参加していただけるよう、組織の見直しを図ることが求められる時期に来ているのではないかと考えております。より税政連が身近なものとして参加していただけるように、定期大会・国政報告会への一般参加や、税政連の特質を活かした研修会の企画・開催、魅力ある広報誌の発行、ホームページの充実などの施策を進めてまいります。

私たち執行部は、本年も税理士にとって明るく輝かしい年とするべく、努力してまいりますので深いご理解と暖かいご支援をお願い申し上げます。

皆様にとって本年も幸多い年でありますよう祈念申し上げます。



会長 大高友紀

目次

焦点……………	1
年頭のことば……………	2
新春対談……………	3
後援会ニュース……………	7

第1回川柳・書道コンテスト	
表彰式・懇親会開催・結果発表……………	9
本部7委員会の紹介……………	12
かんさいすずめ……………	14
銀河系……………	14

新春対談**世耕弘成 内閣官房副長官 大高友紀 近畿税理士政治連盟会長**

司会 後安宏彦 広報委員長

(司会) 新年あけましておめでとうございます。ただ今より内閣官房副長官世耕弘成先生と大高友紀近税政会長との新春対談をはじめさせていただきます。それでは最初に大高会長からお願いいたします。

【座右の銘】

(大高) あけましておめでとうございます。先生は平成10年の初当選以来4回連続でご当選され、自民党及び政府において要職を歴任され、現在は内閣官房副長官としてご活躍されておられます。今後ますます重責を担っていかれることと存じますが、どのようなきっかけで政治家を目指すことになったのでしょうか。

(世耕) あけましておめでとうございます。政治家を志したきっかけは、15年前の話になりますが、N T Tの広報の仕事をしておりまして。日本の巨大企業であるN T Tと世の中を結ぶ広報の仕事、ひとつのライフワークでした。そのような折「選挙に出ないか」というお話を頂きました。政治も、国政で起こっていることを地域の有権者にお伝えし、有権者からお聞きした話を国政へ持ち帰り、国政を変えていく。企業広報の仕事と似ているという思いから政治の世界に入りました。そして初当選以来、安倍晋三先生とずっと行動を共にし、お支えてまいりました。第2次安倍内閣でも総理に近い立場で仕事をさせて頂いております。

(大高) そうですね、新聞の安倍首相の1日を拝見しますと、必ず世耕先生のお名前を拝見します。また先生の政治家としての志や理念、また座右の銘や好きな言葉があればお聞かせください。

(世耕) 好きな言葉は「グローバルに考えて、日本人として行動する」です。常に視野は国際



標準で考えていくが、行動をするときは日本人として行動をする。特に今は安倍内閣及び外交面において、側近としてグローバルにいろんな人と親しくし、一方では国益を懸けた外交をしていく。これはすごく重要なことだと思っています。

【国会での日常】

(大高) 第2次安倍内閣が発足し1年が経過しました。政府・与党では「T P P」・「竹島・尖閣諸島の問題」をはじめとする外交問題、震災復興や経済対策等の諸問題に取り組まれています。先生は常にその中心でご活躍され、先生に対する国民の期待も高くなっています。

(世耕) 私は、口の悪い人には「安倍総理の背後霊」と言われています。いつも後ろで映っていると言われる。どうしても官房副長官というのはそういう立ち位置なのですね。例えば海外へ行ったとき、扉の閉まった密室の中で、通訳含めて2～3名という環境で首脳会談を行うのです。

海外の首脳会談というのは国益を懸けた戦いです。お互い事前にもものすごく準備をして、首脳会談というのは、今対談をしているようにはしゃべらないです。ほとんど紙を読み合うのです。日本の国益に反することを言ったり、あ



世耕弘成 内閣官房副長官

るいは言うべきことを言い忘れたりすると大変なことになりますから、私は横にいて、じっと会談を聞いていて、サポートもさせていただいております。

(大高) 真剣勝負ですね。もう少し、官房副長官として日常や取り組み、先生の職務に対するスタンスや日常の面白い話題、苦労話などございましたらお聞かせください。

(世耕) 私の官房副長官としての大きな仕事は3つあります。もちろん大物案件は官房長官がやるのですが、やはり官房副長官が全部その下たたきをやっているということになります。1つは、総理のサポート機能ですね。そして省庁間の総合調整です。そして3つ目は内閣と国会をつなぐ役割です。

(大高) またオリンピックの開催決定についてもご尽力されたと思いますが。

(世耕) オリンピックの関係で言いますと、今回のオリンピックは安倍総理のおかげで取れたと私は思います。これを取るに当たっては、安倍総理が陣頭指揮を執り、政治的なリスクを取り問題点の解決に当たりました。多分、歴代の総理大臣でここまでオリンピックに入れ込んだ人というのはいなかったと思います。

【これからの国づくり】

(司会) 昨今の経済環境のもと、若年者の失業率が高くなっています。このままでは国民特に若い世代が夢や希望を見いだせないのではないかと危惧されます。活力ある日本の国づくりの

ためには、先生のお考えになるこれからの日本の国づくりや日本の目指すべき方向についてお聞かせください。

(世耕) アベノミクスが一番大きなポイントですが、1本目の矢は大胆な金融緩和で成功しました。2本目の矢の財政出動も成功していると思います。3本目の成長戦略というのは、どうしても効果を実感してもらうには2～3年の時間がかかる、ここが非常に難しい部分と思っています。

(大高) ところで、安倍内閣では女性の活躍する社会というキーワードが出ていますが。

(世耕) その象徴的な出来事として、憲政史上初めて、総理の秘書官に女性が登用されました。総理の秘書官というのは本当に激務で、いまだかつて女性が就いたことはなかったのですが、今回、総務省出身の山田真貴子さんという女性を登用して、総理自身が女性の活躍に熱心だということを見させていただきました。

また国家公務員のキャリアも3割ぐらいは女性にするという指示も出して、まず政府から取り組んでいながら、社会でももっと女性の活躍しやすい環境を整えていき、女性が活躍する部分にもっと力を入れ、女性のパワーを引き出すことによって労働力人口不足をカバーすることを考えなければいけないと思います。

(大高) 成長戦略も次々と打ち出していますね。

(世耕) 成長戦略で大きな軸に据えているのが、いわゆるインフラの輸出です。実は日本のインフラの評価はすごく高く、例えば鉄道で、新幹線が5分間隔に出発して、しかも1分ずれないでぴったり着くというのは、世界水準から見ると驚異の事実ですね。こういう技術を海外へ輸出していくことによって、日本のビジネスチャンスにつなげていくということも考えていきたいです。

(大高) 先の臨時国会が成長戦略国会だったと思うのですが。

(世耕) そのとおりです。例えば産業競争力強

化法案は企業の合併や事業の清算をやりやすくする。駄目な事業は切り離して、成長できる分野へ人を集中させていくための法案です。

もう一つが国家戦略特区法案で、大胆な特区制度を創設する。各地域別にプロジェクトも指定して、その緩和する内容も基本的には法律の中に盛り込んでおいて、要するに指定されたら特区ではすぐにやれるという考え方をしています。これも斬新な特区法案であります。

(大高) その特区の事業というのは、どういうものを想定しているのですか。

(世耕) これは、国際競争力を強化するプロジェクトとか、あるいは教育とか、やる気のある地域とともに組んでやっていきたいというのが、国家戦略特区法案です。

もう一つの成長の可能性が残っている分野が農業で、担い手が高齢化をしていき、耕作放棄地が多く出てきている。これを何とかしなければいけない。しかし、一方で、農家からみれば、先祖代々の土地をそう簡単に手放すわけにいかない中で、農地中間管理機構というものを作り、土地を売らずに機構が預かり、耕作しやすい広い田畑に整えて、そして民間企業で農業をやりたい企業がリースし、その企業が若い人を雇って大規模な農業を展開出来る制度設計をしています。

【税理士法改正】

(大高) 税理士法改正が、平成26年度与党税制改正大綱に記載され、また内閣で閣議決定され、平成26年通常国会に上程されることになりました。平成13年の改正からすでに12年が経過しており、税理士を取り巻く環境は大きく変化しているため、税理士会は議論を積み重ね、税理士法に関する改正要望書をまとめ、それを税政連は陳情してまいりました。

(世耕) これはもともと平成25年1月の党税調で、やはり問題としてきちっと大綱に書き込ませていただきましたが、残念ながら結論というところまではいかなかったわけです。税理士の



大高友紀 近畿税理士政治連盟会長

先生方への信頼とか、地域密着性とか、そういったことを活かして、国民にとって分かりやすい税を実現していくために、税理士の先生方が仕事をしやすい環境を整えて、そして、国民の側もその税理士の先生方に対して全幅の信頼を置けるように、検討するということでした。

この点が、税理士法の改正における一番大きなポイントで、もっと具体的に言いますと、他の分野から入ってくる方々に関して、どういうルールを作っておくかというところが、非常に大きな問題でした。今回の大綱では、この問題について一定の方向が出ましたので、所要の制度改正を行います。一方、これにとどまらず、税理士の資格について今一度整理する必要があるのではないかと考えます。

(大高) 先生には、よくご理解いただいて、本当にありがたいと思っています。いま一度、我々も税理士法の内容を整理し、今後の対応を前向きに考え活動していく次第です。

【TPP交渉】

(大高) 現在、TPP協定において参加国との間で交渉が進められていますが、TPPに係る21の交渉分野の1つに含まれている「越境サービス貿易」において、私どもは「資格の相互承認」に税務業務は含めるべきではないと考えております。「税」の仕組みは国によって多種多様であり、グローバルな基準はありません。日本の税制に対する理解が不足している他国の会計士に対し税務業務を開放してしまうことは、国

家及び納税者にとっても好ましくありません。

(世耕) 官邸におりますとTPPに関してもいろいろな報告が上がってまいります。交渉の中身については、あまり詳しくは申し上げられないのですが、当初は21項目もあるとかいろいろと心配をしておりましたが、現在議論が集中しているのは環境と知的所有権と国営企業と関税、この4項目が中心になっています。このうち環境とか知的所有権、国営企業の問題は、日本には直接問題はありません。日本にとっての懸案事項は関税、特に農産物の関税というところに絞られてきています。

実は、当初われわれも心配していた個別の資格の問題に関しては現在のところ議論されていません。特に税に関しては、各国それぞれ事情が違いますから、税理士の資格がTPP域内で共通とかいうことにはならないと考えています。

【税理士へのメッセージ】

(司会) 最後に、税理士および税理士業界はどうあるべきかなどのご意見と、近畿会約1万4000名の税理士へメッセージをぜひ賜りますようお願い申し上げます。

(世耕) 税理士の先生方には、わたくしの政治活動はもちろんのこと、自由民主党の活動や安倍内閣の取り組みに、ご協力いただいていることを、心から感謝申し上げたいと思います。

日本は今や円安効果で大企業の輸出産業が潤っているという事ですが、日本が本当に復活したというのは、やはり中小企業者が景気は良くなってきたと実感してもらえたときだと思っています。そのために中小企業者がいつも気軽に相談できる存在とし、税理士の先生方には今後のご活躍を期待しております。特にこれから消費税の増税がありますが、軽減税率の議論などもされております。その中で中小企業者にとって消費税の転嫁対策などいろいろと分かりにくいことが出てくるかと思っています。是非、税理士の先生方は国政と企業経営者の架け橋となって、様々な情報の提供をしていただけるように



前列左から、世耕弘成官房副長官、大高友紀会長
後列左から、井戸本泰次幹事長、速水慎一郎後援会長、後安宏彦広報委員長

お願いしたいと思います。

(大高) われわれ税理士も、中小企業者が一番元気になってもらわねばと思っております。そのためにも、よきアドバイザーとして、中小企業を元気にする使命があると思います。また税務の現場を知る税理士の立場から、公平な税制を建議していきたいと思います。

世耕先生の今後のさらなるご活躍を祈念申し上げます。本日はありがとうございました。

世耕弘成 内閣官房副長官 略歴

昭和37年	大阪府生まれ
昭和61年	早稲田大学政治経済学部政治学科卒業 日本電信電話株式会社 入社
平成10年	参議院和歌山県選挙区補欠選挙に当選 (現在 4 期)
平成13年	第19回参議院議員通常選挙に再選
平成15年	総務大臣政務官
平成17年	参議院総務委員長
平成18年	内閣総理大臣補佐官(第一次安倍内閣)
平成19年	第21回参議院議員通常選挙に再選 参議院議院運営委員会筆頭理事
平成22年	参議院予算委員会筆頭理事 自民党幹事長代理
平成23年	学校法人近畿大学理事長 参議院自由民主党国会対策委員長代理
平成24年	参議院自由民主党政策審議会長 内閣官房副長官(第二次安倍内閣)
平成25年	第23回参議院議員通常選挙に再選

後援会ニュース

石田真敏後援会 設立総会

税理士による石田真敏後援会設立総会・懇親会が、昨年10月19日、岩出市のホテルいとうにおいて開催された。

来賓として井戸本泰次近税政幹事長、後安宏彦近税政広報委員長、森村透和歌山県支部連会長の出席があった。



石田真敏 衆議院議員

井上明彦会員の司会により開会し、矢本浩之発起人代表より設立趣意書の朗読と説明があった。司会者の指名により山本孝宏会員が議長となり、後援会規約、役員人事、平成25年度事業計画及び収支予算の各議案の審議に入り、全て可決承認された。

続いて、加藤正彦後援会会長の就任のあいさつの後、石田真敏衆議院議員は、「現在自民党税制調査会幹事であり、インナーをつとめている。税務の専門家である税理士の皆様とお付き合いができることになり、大変喜ばしい」とあいさつした。来賓の井戸本近税政幹事長から「後援会の皆さまには、石田議員を強力に支援していくことをお願いしたい」とのあいさつがあった。

最後に、石田議員へ税理士法改正に関する要望書を加藤後援会会長より提出し、森下悦男後援会副会長の閉会あいさつで締めくくった。

設立総会終了後、懇親会を開催し、万歳三唱をもって盛会裏に終了した。

(和歌山支部 小西里枝)

二ノ湯さとし後援会

税理士による二ノ湯さとし後援会の総会が、昨年9月28日、京都センチュリーホテルにて開催された。

来賓として、二ノ湯智参議院議員、近税政から大高友紀会長、原綱宗総務会長、京都府支部連より奥村和義会長、伊良知弘敏幹事長、伊吹文明後援会から北條巖会長、室谷澄男幹事長、西田昌司後援会から中江嘉和会長が出席した。



谷口康夫幹事長の司会により開会し、今西衛後援会会長が「税理士法改正等に対して、我々も近税政と歩調をあわせて取り組んでいく。そのためにも二ノ湯議員への一層の支援をお願いする」とあいさつした。

その後、ただちに総会となり平野烈会員が議長に選出され、第1号議案から第3号議案まで賛成多数により可決承認された。

次に、大高近税政会長、奥村支部連会長よりあいさつがあり、石原豊後援会副会長のことばをもって総会は閉会した。

続いて、二ノ湯議員より「TPPについては、安全保障、日米同盟そして対中政策を視野に入れて考えなければならない。それらに対処するためには政治の安定が何よりも不可欠である」との国政報告がなされた。

総会終了後、懇親会となり、一同和やかに歓談し、盛会のうちに散会となった。

(東山支部 藤原俊文)

原田憲治後援会

税理士による原田憲治後援会定期大会が昨年10月3日、千里阪急ホテルにおいて開催された。来賓として、原田憲治衆議院議員、井戸本泰次近税政幹事長、松尾康弘近税政大阪府第3支部連会長が出席した。



原田憲治 衆議院議員

生田哲也副幹事長の司会により開会し、来賓紹介の後、田中啓允後援会長から、原田議員を現職としてお迎えできることの喜びや、税理士法改正について連携をさらに密にしていきたい旨のあいさつがあった。

続いて議長として杉山孝一副幹事長が選出され、直ちに議案審議に入り、第1号議案から第5号議案について執行部より説明があり、慎重に審議され、原案どおり満場一致で可決承認された。

大会の後、原田議員より活動報告があり、所属の各委員会での職務内容や、消費税増税にあたっての財政問題と中小企業のサポートを含めた平等な税負担について語られた。また税理士法改正にあたり、その実現に向けて、一緒に対応していきたいという力強い意見も述べられた。

次に田中会長より要望書を原田議員に提出し、要望の陳情が行われた。最後に金山薫章副幹事長より活動報告への謝辞及び激励をした。

その後開催された懇親会では、会員と原田議員が終始和やかな雰囲気の中親しく懇談を行い、盛会のうちに閉会した。

(豊能支部 田中順也)

福山哲郎後援会

税理士による福山哲郎後援会の第11回総会が昨年11月15日にホテルモントレ京都において開催された。



来賓として福山哲郎参議院議員、近税政本部より大高友紀会長、大村恵美子副会長、原綱宗総務会長、京都府支部連より奥村和義会長、伊良知弘敏幹事長が出席した。また福山議員と同じ民主党の前原誠司後援会の村中平治会長、松井孝治後援会の竹村一志会長も来賓として参加した。

竹内政明会員の司会で開会し、作見蔵一会長が「今年で福山議員の議員活動が15周年になる。今までの皆様のご協力にお礼を申し上げますとともに、今後もますます国会の場でご活躍いただけるよう応援していきたい」とあいさつをした。

総会議事では、芦田勝博幹事長より明解で簡潔な事業報告と会計報告があり、参加者全員の拍手により可決承認された。

大村副会長の乾杯で始まった懇親会では、福山議員らしく気さくに会員と意見交換を行った。

総会の最後に、福山議員の国政報告がユニークになされた。まず、8月に視察した東京電力福島第一原発について、汚染水漏れの状況等について当日撮影されたビデオにより具体的な説明があった。また、最近の税制改正の状況や、今国会で審議中の特定秘密の保護に関する法律案のポイントが分かりやすく報告され、参加者全員が有意義な時間を過ごした。

(上京支部 矢田善久)

伊吹文明後援会 懇談会

日時 平成25年11月2日

場所 A N A クラウンプラザホテル京都

来賓 伊吹文明衆議院議員 衆議院議長

池田隼啓 日税連会長

小川令持 日税政会長

北村善和 近税会副会長

大高友紀 近税政会長

井戸本泰次 近税政幹事長

笹岡憲一 近税政財務委員長



司会の室谷澄男幹事長が開会を宣し、近藤明夫会員のサクソ演奏（ピアノとギター伴奏付き）で趣向を凝らした幕開けとなった。

北條巖後援会長、廣瀬來三名誉会長あいさつに続き、池田会長は税理士を取り巻く昨今の情勢下、予断を許さぬ状況であるので税政連の一層の協力を必要とする旨のあいさつをした。

小川会長は「公認会計士協会との会談を行うなど、税理士法改正に向けて活動を行っている」、続いて大高会長は「税理士法改正運動を活発に行うためにも会費収納率向上を目指す」とのあいさつを行った。伊吹議員は、「利害関係の異なる税理士と公認会計士の意見調整のため、両団体の話し合いの場の設定や双方の議連議員にも声を掛けてある」と報告を行った後、北條会長が伊吹議員に対して、税理士会よりの要望書を固い握手とともに手渡した。

その後懇親会が開催され、来賓者と出席者が和やかに懇談し、盛会のうちに閉会した。

（上京支部 東智之）

第1回川柳・書道コンテスト表彰式・懇親会開催

『第1回川柳・書道コンテスト』の表彰式及び懇親会が昨年9月19日国民會館にて開催された。当日は、多数の受賞者と主催者側の役員、そして外部審査員が集って行われた。

コンテストにおける応募点数は総数133点（内訳：書道テーマ部門26点、書道自由部門26点、川柳81点）であった。そこから厳選なる審査を経て、最優秀会長賞・優秀賞（次頁参照）などが選ばれた。表装された書道の受賞作品が掛けられ、また川柳の受賞作品も公表された。

はじめに大高友紀会長が主催者を代表してあいさつした後、外部審査員である小西浩太先生（書道）と東野結花先生（川柳）が紹介された。引き続いて大高会長から受賞者に対して賞状と記念品が授与された。表彰式の後、審査員の小西先生から書道作品に対する作品講評が一点ずつ行われた。また東野先生から川柳への講評がなされた。



懇親会では、受賞者一人ずつ登壇し、応募動機や経緯そして応募作品への想いを述べた。受賞者のエピソードを聞いて出席者は和やかな雰囲気になった。今回初めてコンテストを企画・実施したが、近畿税理士政治連盟の意義と活動内容をあらためて外部に周知した機会となった。

最後に、大村副会長がお礼のあいさつをして閉会となった。（門真支部 大志万泰範）

第1回 川柳・書道コンテスト 結果発表

募集期間:平成25年4月1日～6月20日

書道コンテスト

テーマ部門 テーマ／近畿税政連

最優秀 会長賞

藤原 洋子 福知山支部

※本号(196号)から表紙の題字になりました。

近畿税政連

優秀賞

黒田 有紀
奈良支部

近畿税政連

近畿税政連

優秀賞

小川由美子 生野支部

近畿
税政連

入選

石谷 秀志
泉大津支部

近畿税政連

入選

今田 幸史 伊丹支部

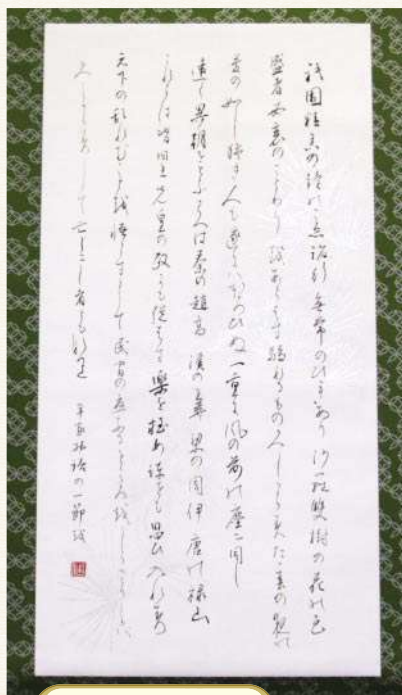
近畿
税政連

入選

桑野 秀朗
東住吉支部

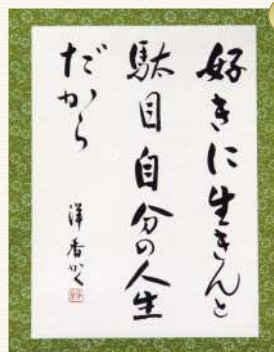
書道コンテスト

自由部門

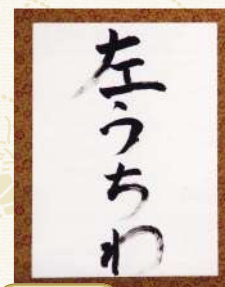


最優秀 会長賞

黒石 健弘 北支部

祇園精舎の……
(平家物語の一節)

優秀賞

藤原 洋子
福知山支部
好きに生さんと駄目
自分の人生だから

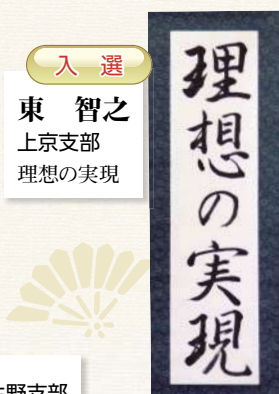
入選

畠山 政己 門真支部
左うちわ

優秀賞

桑野 秀朗 東住吉支部
志在千里

入選

小川由美子 生野支部
一花開天下春

入選

東 智之
上京支部
理想の実現

川柳コンテスト

税政連 正しい活躍 税精錬

最優秀 会長賞

森福 清和 泉大津支部

血圧も 株価と共に 乱高下

優秀賞

吉村 政勝 西支部

後の世の 発展願い 基礎づくり

優秀賞

池上 澄雄 東淀川支部

税金を 払わぬ人が 文句言い

入選

萬野 俊史 泉大津支部

税政連 役割大きく 影薄い

入選

後安 宏彦 和歌山支部

マイナンバー 今度はどんな 詐欺増える?

入選

吉田 廣彰 葛城支部

政連の 会費納入 回避せず

幹事長特別賞

瀬島 幸夫 和歌山支部

税政連 国会動く 底力

広報委員長特別賞

中尾 義孝 天王寺支部

本部7委員会の紹介

政策委員会

政策委員会では、平成25年度運動方針・委員会運動方針に沿って、本年度重点運動の具体的な方策、懸案事項等を審議、提案し、特に会員への税政連意識の徹底を図るため、委員会での活発な議論が必要と考えています。新年度の委員会の皆様方とともに精一杯頑張ります。他の委員会のご協力もよろしくお願い申し上げます。

(政策委員長 田 達満)



財務委員会

財務委員会は、税政連活動に必要な財政の確立・強化を図ることを目的としています。

そのために、会費の収納率の向上策を検討し、実施しています。

新年度の委員会の皆様方と一緒に頑張ります。税政連運営に必要な財政力の強化にぜひともご協力をよろしくお願いいたします。

(財務委員長 笹岡憲一)



組織委員会

組織委員会では、諸規定の整備を通じて内部規律を高め、組織の充実を図り、より適切な組織を確立して参ります。また組織の活性化を図るべく、当連盟ならではの会員研修会を企画していきます。同時に支部連・支部の効率的、機能的な活動並びに支部連・支部及び後援会の連携強化のための施策を検討し、実施します。

(組織委員長 協阪説男)



国対委員会

国対委員会は本連盟の事業遂行に必要な国会対策を樹立し、請願や陳情等の具体的運動を実行部隊として実施いたします。そのために「税理士による国会議員等後援会」などで開催される懇談会などに委員全員が積極的に参加し、国会議員との接触を密にして、請願・陳情等の内容の理解と協力が得られるよう活動を行います。

(国対委員長 前川武政)



選対委員会

当委員会は、「①国会議員等の選挙において推薦候補者に対する応援体制を確立し、強力な支援活動を展開する②公職選挙法及び政治資金規正法等について随時研修会を開催し、適切な指導を行う」となっております。過去における応援体制の適否を検討して今後の支援活動を万全のものにします。政治資金監査人制度の運営状況を検証します。(選対委員長 桑野秀朗)



広報委員会

当委員会は、25人でこのうち7人が女性であり、華やいだ雰囲気です委員会を行っています。よろしくお願いいたします。主な役割は、後援会、支部連等への取材であります。機関紙の写真は、笑顔での集合写真を載せるようにしています。皆さん、取材に伺った際には、笑顔でご協力お願い申し上げます。

(広報委員長 後安宏彦)



後援会対策委員会

議員にとって、後援会はぜひとも必要な組織で、後援会を通じて税理士政治連盟と固く結びついています。それゆえ、後援会会員と議員との関係が密であればある程、税政連の行う議員に対する陳情等は成功するといえます。

当委員会は、後援会活動のさらなる活性化のため支援を強化していきます。

(後援会対策委員長 旭 輝明)



あけましておめでとうございます
本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます

2014年 元旦

西宮税理士協同組合 理事長 浦濱 勇

西宮税理士協同組合は保険事業・共済事業を通じて関与先と税理士事務所の繁栄に寄与しています。本組合は、組合員の相互扶助の精神に基づき、組合員のために必要な共同事業を行い、もって組合員の自主的な経済活動を促進し、かつ、その経済的地位の向上を図ることを目的としています。

ご加入をお待ちしております

詳しくは事務局まで(電話0798-23-4488)

思い違いだった近税政



近税政の支部幹事長を前期から拝命しています。前期はわが支部が担当ということで大阪府第1支部連幹事長も兼任、さらに第1支部連幹事長は自動的に大阪府連幹事長となるということでした。さらに広報委員もさせていただきました。実際に関わらせていただくと、近税政に対する今までの理解が間違っていたことに気付きました。

近税政の活動に関わっていないときは、国会議員を応援するのが近税政の主な活動と思っていました。正直、あまり政治にはかかわりたくないとも思っていました。しかし、そこが大きな間違いでした。何のために、誰のために税政連があるのか、それは紛れもなく私達、税理士のためにあるということを今では理解できています。

納税者の信頼に応え納税義務の適切な実現を図るという我々税理士の使命を遂行していくためには、その時々に応じて時代に合った法律を必要とします。税務に関して、なにが時代に合った法律なのか、実務を通じて私達、税理士がもっともそれをわかる立場にあります。そんな我々が法律改正を建議し、実際に法律の改正を図っていくためには国会議員の活動がなければ成し遂げられません。

私達、税の実務家から生まれる税務実務に合った税務に関する法律を建議するのも我々税理士に課せられた使命だと思います。まだまだ、近税政の果たすべき役割について、少し前の私のように誤解されている会員も大勢おられると思います。

今期も近税政広報委員を拝命させていただいています。近税政について正しい理解をしていただくことも広報委員会の重大な仕事だと思います。

(南支部 堀 浩司)

近税政本部のうごき

○第4回広報委員会(12月3日)

- ・機関誌第195号(12月号)の批評
- ・機関誌第196号(新年号)の編集について
- ・機関誌第197号の編集企画に関する件
- ・その他

○国対・選対・後援会対策合同委員会(12月5日)

- ・平成25年度運動方針及び委員会活動方針について
- ・国会議員等に対する陳情活動について
- ・選対委員会活動について
- ・後援会対策について
- ・その他

○政策・財務・組織合同委員会(12月9日)

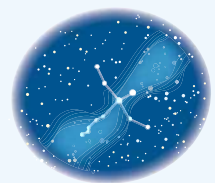
- ・平成25年度運動方針及び委員会活動方針について
- ・「近畿税政連のしおり」の改訂及び「近畿税政連ホームページ」の運営について
- ・会費収納率向上の諸施策について
- ・支部長・後援会会長連絡会議の開催及び会員研修会の開催について
- ・その他

表紙題字：「第1回川柳・書道コンテスト」

書道テーマ部門 最優秀会長賞作品

(作＝藤原洋子 福知山支部)

銀河系



昨年の11月、11年ぶりに来日したポール・マッカートニーを再び大阪ドームで観た。

トレードマークのバイオリンベース、ギター、そしてキーボードを次々と持ち替え、ビートルズ時代の曲を中心に、ステージを縦横に移動しながら、パワフルにシャウトしたポール。そこにはビートルズが甦った。ノンストップ休憩なしの2時間30分。超一流のショーマンの演出に、会場を埋め尽くした3万人が狂喜した。

あの年齢で、と誰もが驚いた。71歳である。11年前の公演でも物凄い60歳と感じたが、それ以上に元気な71歳がそこにはいた。ジョンに、ジョージに、そしてリンダのためにそれぞれ歌い、東日本大震災で被災して今も苦しむ人々にはレット・イト・ビーをささげた、人間愛にあふれた素晴らしいコンサートであった。大きな感動と元気を貰った。

(上京支部 矢田善久)